

国際ロータリー第2840地区<群馬>2013-2014年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
to Rotary club presidents and secretaries



群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」
許諾第25-190330号

2013
9



本田ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F

TEL:027-212-2840 FAX:027-212-2841

E-mail:honda@rid2840.jp

9月号
Vol.3

2013年9月1日発行

第2分区 B のホープ Our Hope



毎月各クラブの
若手3名の笑顔を
掲載しています。



伊勢崎 RC 安部 良憲



伊勢崎 RC 岸 慈音



伊勢崎 RC 須永 忠利



群馬境 RC 天田 光俊



群馬境 RC 猪股 正考



群馬境 RC 田島 正広



伊勢崎中央 RC 赤堀 哲也



伊勢崎中央 RC 新井 洋介



伊勢崎中央 RC 都丸 真査瑠



伊勢崎南 RC 鈴木 昭彦



伊勢崎南 RC 田原 明美



伊勢崎南 RC 目木 和良



伊勢崎東 RC 篠原 利行



伊勢崎東 RC 中西 力太



伊勢崎東 RC 村上 大樹

「もじゃろー」キャラクターは伊勢崎商工会議所の登録商標です。



「ガバナー月信」9月号目次

表紙.....	01	パストガバナーエッセイ 安藤パストガバナー	18
目次、笑顔の会員紹介.....	02	ガバナー・コラム「ロータリーの誤解・正解」第3回	20
ガバナーメッセージ	03	地区大会のご案内	24
新世代のための月間に寄せて	04	しゅんすけ君への募金のお願い	26
2013年規定審議会 詳細レポート第3回.....	05	R1の新ウェブサイト公開	27
地区ガバナー候補者推薦についてのお願い	07	竹内ガバナーエレクト事務所開設のご挨拶	29
青少年夏期交換学生歓迎会・壮行会報告.....	08	地区主要行事一覧および周年行事予定クラブ	30
RLIディスカッションリーダー研修会報告	09	新会員紹介.....	32
インターアクト年次大会報告	10	訃報.....	34
ロータリー財団セミナー報告	12	文庫通信.....	35
管理運営セミナー報告	14	7月出席報告	36
青少年一年交換派遣学生壮行会報告.....	15	2012-13年度全国会員数の推移	37
パストガバナーエッセイ 森田パストガバナー	16	ガバナー月信についてのお願い／編集後記	38

笑 顔 の 会 員 紹 介

氏 名	安部 良憲	岸 慈音	須永 忠利	天田 光俊	猪股 正考
クラブ名	伊勢崎	伊勢崎	伊勢崎	群馬境	群馬境
会 社 名	群興(株)	(有)コスモ保険 サービス	(株)プリオ コーポレーション	(有)天武	宗教法人 愛染院
職業分類	クリーニング サービス	損害保険	結婚式場	料理店	仏教

氏 名	田島 正広	赤堀 哲也	新井 洋介	都丸 真査瑠	鈴木 昭彦
クラブ名	群馬境	伊勢崎中央	伊勢崎中央	伊勢崎中央	伊勢崎南
会 社 名	(株)アイエスボンズ	タハマ(有)	新井自動車工業(株)	(株)トマル運輸	(株)グッド
職業分類	損害保険	社会福祉施設	自動車整備販売	運送業	自動車板金塗装

氏 名	田原 明美	目木 和良	篠原 利行	中西 力太	村上 大樹
クラブ名	伊勢崎南	伊勢崎南	伊勢崎東	伊勢崎東	伊勢崎東
会 社 名	日の出ネジ(株)	(有)目木商店	栄運輸(株)	中西工業(株)	村上大樹 法律事務所
職業分類	ネジ販売	燃料販売	運送業	管工設備	弁護士



ガバナーメッセージ

9 月は「新世代月間」。
そして、公式訪問が始まります

2013-14 年度

ガバナー 本田 博己

会長・幹事の皆さんこんにちは !!

9 月からいよいよ各クラブへのガバナー公式訪問が始まります。クラブ現況報告書の作成・提出のご協力ありがとうございました。現況報告書を精読して訪問に備えます。公式訪問では、出来るだけ多くの会員の皆さまと、交流・意見交換ができれば幸いです。ご準備をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、9 月は「新世代のための月間」です。今年の規定審議会で「新世代奉仕」が「青少年奉仕」に名称変更されたのはご案内の通りですが、月間の呼称もいずれ変更になると思います。

ロータリーでいう「青少年奉仕」は、30 歳以下の青少年を対象とする分野です。常設プログラムには、「インターアクト」(12 歳～18 歳)、「ローターアクト」(18 歳～30 歳)、「ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)」(30 歳以下)、「青少年交換」(15 歳～19 歳)があり、2840 地区でも、それぞれ委員会を常設し活発に活動しています。また、米山記念奨学会の奨学事業も「青少年奉仕」の分野と考えてもよいと思います。

ロータリーは初期の頃から、青少年の育成に関心を向け、上述の青少年奉仕のプログラムも長い歴史を持っています。しかし、例えば「インターアクト」や「ローターアクト」は提唱クラブ以外のクラブの皆さまの関心が少し薄いように感じます。地区内すべてのクラブに、青少年奉仕プログラムへ関心をもっていただき、プログラムに積極的にご協力・ご参加いただきますよう、ガバナーとして心よりお願い申し上げます。

私は、地区目標の一つに「**子どもの未来を育もう**」と掲げました。これは、正田直前ガバナーの「次代を担うこども達に向けて」というテーマを継承するものです。「新世代(青少年)のための月間」が、ロータリーの常設プログラムだけではなく、広く次世代 (Next Generations) の子どもたちの未来を考える機会になってほしいと願っています。

私が掲げた地区スローガン「希望を語ろう!」は、ロータリアンの皆さまに、ご自身とクラブの未来についての希望を語ろう、と呼びかけているだけではなく、私たちロータリアンは、子どもたちの未来のために、彼らに希望を語り、希望を伝える責任があるのではないか、という提案でもあるのです。



新世代のための月間に寄せて

魅力あるロータリアンになろう!!

新世代奉仕部門 連絡会議 議長
パストガバナー 松倉 紘洋

ロータリーの活動はそのスケールの大きさ、意義の深さ、総てにおいて素晴らしいものがあります。

新世代奉仕の特徴は、幼児、義務教育からインターアクト、ローターアクト、青少年交換プログラム、ライラ研修と誠に多岐に亘っていることです。

ポール・ハリスは「ロータリアンは地域社会の指導者として青少年の模範でなければなりません。しかし、ロータリアン自身少年の心を失ってはならないのです。」と著書『わがロータリーへの道』に記してあります。そして、「私の70余年の人生で大切なものが2つあります。1つは、故郷ニューイングランドの谷間、そしてもう1つはロータリー運動です。私がロータリーに身を捧げるようになった源を探っていくと谷あいの故郷、村人の人情や宗教、政治に関する大らかな心にまで遡ることができます。」と、少年時代の豊かな自然や祖父母との慎ましやかな暮らしぶりを懐かしく振り返っています。

その彼が、シカゴの町で弁護士事務所を開業いたしました。「弁護士の看板をだすことは易しいが、まさか完全に無視されるとは思いませんでした。私には大切なものが1つ欠けていました。それは“友だち”です。自分には一人の友もない。恐ろしいほどの孤独感に襲われました。シカゴは人の心の砂漠でした。そこで、同じ孤立感に悩まされていた3人の仲間で作ったのが・・・ロータリークラブでした。」

ロータリーの原点はここにあります。ロータリーが会員を導いて行く一つの方法は彼らの気持ちの中に少年時代の心を残すことです。少年時代の人生を見る目は素晴らしいもので、清らかな眼で偏見は無く寛容で熱意と友情に溢れています。「ロータリーは少年の心を忘れずに発展向上を目指す団体です」と書き綴られています。

私自身を振り返れば、未知の土地で幸運にもローターアクトとの出会いが、人生の転機でありました。ローターアクトの草創期、ロータリアンの取り組みは熱意に溢れ、ローターアクターの憧れの的でもありました。今、そうした活動は確かにやさしいことではありませんが、新世代の人達にロータリーの心を的確に伝えていくことが、最重要課題ではないでしょうか。新世代の常設プログラムも安易な前例踏襲や、マンネリズムの打破を試みる「ロータリアンの情熱」こそが源泉です。

“ 青少年のお手本となるようなロータリアンになること ”

を肝に銘じたいものです。

2013 年規定審議会 主な立法案採択の経緯 詳細レポート 第3回



「新世代奉仕」から「青少年奉仕」へ

2013 年規定審議会代表議員
パスト・ガバナー 曾我 隆一

制定案 13-69

第五奉仕部門を改正する件

提案者： 英国 Minehead RC オーストラリア Ryde RC

標準ロータリー・クラブ定款を次のように改正する。(手続要覧 248 ページ)

第5条 五大奉仕部門

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリー・クラブの活動の哲学的および実地的な規準である。

1. …… 2. …… 3. …… 4. ……

5. 奉仕の第五部門である新世代青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされること認識するものである。

〈提案理由〉

2010年規定審議会では、第五の奉仕部門の名称として「青少年奉仕」を創設するものであり、青少年プログラムの対象となるグループを具体的かつ正確に表現するものであった。

多くの国で、青少年たちは「新世代」という言葉が、曖昧で、横柄な言い方であり、受け入れがたいと感じている。多くのロータリアンは、ロータリーのイメージにとって「新世代」という言葉が悪影響を与えていると考えている。

→ 308対205にて採択

〈解説〉

ポイントは、3年前の2010年規定審議会では画期的といわれた立法案が採択された。すなわち標準ロータリー・クラブ定款第5条に新たに追加されたのが「新世代奉仕」であったことはまだ記憶に新しいことである。

しかし、提案された最初の立法案（10-87）を見ると、文言としては「青少年奉仕部門」であった。それが、結果としては「新世代奉仕」と修正された。

私は2010年の規定審議会（COL）にはいなかったのですが、詳細はわからないが、仄聞するところいろいろ議論があり、激戦（？）の結果であったと聞いている。

その一つの要因が新世代と青少年のターゲット年齢、特に上限をどの程度とするのかである。今回のシカゴでのCOLでルイス・ビセンテ・ジア元RI会長（1996-97年アルゼンチン・アレシフェスRC）が反対意見を述べたが、それは2010年のCOLでの決定として、35歳までの世代



を新世代とすることになっているので、青少年に文言を変更することは反対である、と。

若干、敷衍すると、「新世代」という言葉を最初に強調されたのが、ジアイ元会長である。1996年カルガリー国際大会で、次のようにスピーチされている。「成功と失敗の分割要素は、未来へのビジョンです。これは、かつてないほど真実であるといえます。新世代は未来への投資です。今日から、未来を築き始めようではありませんか！」元会長には議決権はないが、発言せずにはいられなかったと推察した。

また、他の代表議員からも、ロータリーは未来志向の組織であるから、新世代と呼ぶ方がふさわしいとの反対意見が開陳されたが、103票差で採択となった。

この立法案に関連して、日本（埼玉県、川口西R.C）から提案され、結果は理事会付託となった立法案を紹介したい。

制定案13－65

ロータリーの綱領に新世代の奉仕と育成に関する第五項目を追加する件

提案者：第 2770 地区 川口西RC 日本

国際ロータリー定款を次のように改訂する（手続要覧 179 ページ）

第4条 綱領

第5 次の世代を担う新世代に対し、奉仕・交流プログラムの実践を通し奉仕の理想の理解を促し、青少年が指導者としての資質を伸ばし国際間の親善、世界平和に貢献できる担い手となること。

さらに、標準ロータリー・クラブ定款も改正する。 ＊省略

〈提案理由〉

2010年規定審議会で新世代奉仕が五大奉仕部門に新たに加わったが、現状の綱領は新世代に触れていない。五大奉仕がロータリーの基本原則である以上、ロータリーの綱領と五大奉仕部門に整合性が必要である。

〈経緯・解説〉

川口西RCから提出された立法案と酷似している、一本前の13－64（インド・マレーシア等5カ国）が先にTOB＝理事会付託になったのが影響した。

これら、青少年奉仕に対して大きな関心が寄せられているのと併行して採択には至らなかったが、もう一つの流れは「環境保全」に関する案件がいくつか出されていた。

いずれにしても、国際ロータリー定款を改定するのは「三分の二」ルールがあり、そう容易に改訂することは出来ないと感じた。

RI定款は正に、英語で“RI CONSTITUTION”とあるように、国の憲法と同様、そう容易には改訂出来ない仕組みではあるが、決して不可能ではないのもまた、然りである。



2016 - 2017 年

地区ガバナー候補者推薦についてのお願い

ガバナー 本田 博己
ガバナー指名委員会委員長 松倉 紘洋

RI細則13条1節により、2016-2017年度の地区ガバナー候補者を本年度末（2014年6月末日）までに指名・推薦する必要があります。

つきましては、RI細則13条2節4項（クラブからガバナー・ノミネーを推薦）に基づき、2016-2017年度国際ロータリー第2840地区ガバナー候補者をご推薦賜りたくお願い申し上げます。

記

地区ガバナー候補者の資格要件として、下記の各項が要求されます。詳しくは『2010年手続要覧』（34・35・232ページ）をご参照ください。

- (1) 地区内のクラブの瑕疵なき会員であること
- (2) 完全に会員資格を有する者
- (3) クラブ会長を全期務めたことのある者
- (4) ガバナーの任務と責任を果たす意思と能力のある者
- (5) ガバナー就任時点で通算7年以上クラブ会員であること

ガバナー候補者推薦状は、RI細則13条2節4項をご参照の上、クラブ例会で採択された決議の形でクラブ幹事が正式に証明した文書をもって、2013年12月31日までに本田ガバナー事務所にご提出ください。

(送付先)

〒371-0855

群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1階

本田ガバナー事務所

以上

青少年夏期交換学生歓迎会・壮行会報告

夏期交換学生歓迎会・壮行会盛大に実施される

青少年交換委員会 担当副幹事 星野 洋一

平成 25 年 7 月 14 日（日）、12:30 ～ 14:30 に前橋問屋センター会館にて青少年夏期受入学生の歓迎会及び夏期派遣学生の壮行会が開催されました。

まずは前原委員長、本田ガバナー、疋田直前ガバナーより学生に向けた歓迎と激励のお言葉を頂き、引き締まった雰囲気ではじめられました。

その後は、食事を楽しみながらのオリエンテーションへと移り、和気あいあいとした雰囲気で進んでいきました。最初に受入学生の、Derrick Dreifuerst さん、James Hsu さん、MEYROVICH Noah Alexander さんが挨拶をしました。しっかりと日本語でスピーチをされ、意気込みが十分感じられました。

次に派遣学生の、岡部れなさん、高坂栞さん、三浦薫さんより英語と日本語による挨拶がありました。英語のスピーチでは、練習の成果を遺憾なく発揮され、すばらしい発音を披露していました。続いて 2012-2013 年度長期派遣学生の茂木大知さん、平野七瀬さん、梨本あかねさんより帰国の挨拶がありました。バッジをたくさん付けて重くなったブレザーを誇らしげに着込み、堂々とした態度でスピーチをする姿は、一年間の大きな成長を感じさせました。

ROTEX 代表の庭屋貴史さんからは、受入と派遣の双方の学生へ、激励の言葉を頂きました。その後、長期受入学生認定証授与並びにホストクラブ・ホストファミリー感謝状授与が行われました。疋田直前ガバナーより、2012-2013 年度長期受入学生の、Emma Catherine Montague さん、Johannes Wachtler さん、Jordan R.Grant-Leanna に認定証が授与され、その後、日本語による挨拶がありました。これから帰国する 3 人ですが、この 1 年の様々な出来事を振り返り、涙あり、笑いありの大変素晴らしいスピーチでした。また、ホストクラブとホストファミリーの皆様には、感謝状が授与されました。その後、テーブルにマイクを回して、この一年間の思い出や今後に向けた意見等が話し合われました。

最後に、竹内ガバナーエレクトから学生への激励の言葉を頂き、閉会となりました。



RLIディスカッションリーダー研修会報告

RLIを通じて希望を語ろう！

地区幹事 板垣 忍

“RLI研修” 3年目になる今年は、竹内ガバナー年度の会長・幹事予定者を受講者に行う予定です。RLI研修【従来の講義を聴くスタイルではなく、決められたテーマについて、皆なで意見を出し合っの討議を通じて、自分自身の解答や方向性を見出す研修方法】を実りあるものにすべく標記研修会が7月21日・8月10日の2回にわたって行われました。

1回目の研修会は、今年もRLI日本支部ファシリテーターとして日本中を走り回っておられる中村靖治第2770地区パストガバナーをお迎えしました。

今年度より就任された8名を加え25名のディスカッションリーダーは、「ロータリーの素晴らしさを理解し実践していただく」ための進行役という使命を体得すべく、ロールプレイングを通して真剣に研修を重ねました。自分で話すのではなく、話を引き出すことが役割というディスカッションリーダーに必要なのは、「テクニックではなく人間性を磨いて人間力をつけることが最も必要」と中村ファシリテーターより伝授いただき終了しました。



2回目の研修会は、「RLI日本支部カリキュラム委員」2650地区敦賀RCの刀根莊兵衛氏をお招き



しましたが、おまけということで新潟RC小山楯夫氏、本庄南RC浅田進氏も駆けつけてくださいました。刀根氏からは「効果的なファシリテーション」と題して問題解決型ファシリテーションに必要な4つのスキルを中心に講義をしていただきましたが、謙虚さ一杯の表情の中にクレバーで歯切れの良い素晴らしい講義に感動してしまいました。

午後、本田ガバナーの進行によるフリーディスカッションが行われ、出席者全員から意見・疑問点や要望を頂き「私たちディスカッションリーダーにはもっと研修が必要です」という結論になりました。横山公一パストガバナーより、いつもの歯切れの良い講評をいただき終了いたしました。

午後は、本田ガバナーの進行によるフリーディスカッションが行われ、出席者全員から意見・疑問点や要望を頂き「私たちディスカッションリーダーにはもっと研修が必要です」という結論になりました。横山公一パストガバナーより、いつもの歯切れの良い講評をいただき終了いたしました。

“メッセージを伝える人間自身が、そのメッセージと同じく重要になります” <刀根氏談>
やっぱり日々努力ということでしょう。ありがとうございました。



インターアクト年次大会報告

年次大会テーマ『Bridge to hope ～希望への架け橋～』

インターアクト委員会 委員長 高井 和雄

- 1、日 時 2013 年 7 月 27 日（土）
- 2、会 場 高崎商科大学
- 3、主 催 高崎商科大学附属高等学校
- 4、提 唱 高崎南ロータリークラブ
- 5、参加者 インターアクター 140名 顧問教師 25名 来賓・講師 7名
ロータリアン 34名 地区役員・委員 12名 ローターアクト 4名
高崎南ロータリークラブ 20名 商科大学職員 15名 合計257名
- 6、日 程 開会式
基調講演『懸命に生きる人々～日本人こそ学んで欲しい～』
講師：一般社団法人アジア支援機構 代表理事 池間哲郎 先生
分科会（4分科会）
閉会式

7、講演内容

アジア各国で支援活動を行っている池間先生の活動内容、先生が支援活動のきっかけとなったフィリピンのスモーキーマウンテンでの少女との会話「あなたの夢はなんですか？」「私の夢は大人になるまで生きることです。」等、今の日本では考えられないアジアの子どもたちの現状、生きていることの大切さ、親への愛情、子どもへの愛情、教育の重要性等を写真とビデオを使って人の命とは、真のボランティアとは？を生徒たちに問いかけながらお話しいただきました。加えて近隣諸国で起こっている日本バッシングも一部の国ことであり、他の多くの国の人々は、日本人は素晴らしい民族であり、感謝の気持ちで接してくれるので、若い諸君も日本人として誇りを持って行動するように、とお話しされました。

8、分科会

【第1分科会】 日本の文化に触れよう～篠笛を吹いてみよう～

高崎南 RC 会員で秀山流保存会会員の平山智則先生の指導で、篠笛を体験した。初めは、なかなか音が出なかったが、練習を重ねていくうちに、何となくではあるが吹けるようになった。普段、お祭りなどで耳にする篠笛の奥深さとどこことなく懐かしい音色に癒され、体験したことによって、興味関心が持てるようになった。分科会発表の際には全員で「竹田の子守歌」を披露しました。

【第2分科会】 ロール・ケーキづくり

高崎南 RC 会員・欧風菓子ラ・メーゾン会長の米山誠郎先生の指導でロール・ケーキづくりの実習を行う。それぞれ思い思いにデコレーションし、オリジナルのロール・ケーキをつくり、完成したものを最後は、みんなで試食した。自分でつくったという達成感が得られ、とても美味しく感じられた。

【第3分科会】 アニメで日本と世界を旅したら～アニメで楽しむ観光旅行

テレビアニメやアニメ映画の舞台になったとされる地の実際の風景写真と、アニメの1コマとを鮮やかな映像で見比べながら学んだ。近年、海外からも注目されている日本の漫画やアニメの歴史を学び、アニメ制作の裏側について知ることができ、アニメの舞台となった国や地域について、興味や関心が高まった。

【第4分科会】 人と人をつなぐマナーとホスピタリティー

人と人の心が通い合うために重要な、おもてなしの心を持って接すること、相手の気持ちを理解しようと努力すること、身だしなみの大切さなどを実践しながら学ぶことができた。ホスピタリティーマインドを学び、初めて会った生徒同士も分科会内では自然と笑顔で会話ができ、交流を深めることができた。





ロータリー財団セミナー報告

ロータリー財団への理解進む

地区副幹事 温井 尚久

平成 25 年 8 月 3 日（土）、10：00～16：00 に伊勢崎プリオパレスにてロータリー財団セミナーが開催されました。

「今年度は未来の夢計画の実施年度であり、計画年度でもあります。」という伊能ロータリー財団副委員長の開会の言葉でスタートしました。

続いて本田ガバナーより、「このセミナーには会長、幹事、財団関連の委員長の他に会長エレクトにもご出席いただいています。未来の夢計画は計画と実施が2年間重なります。この仕組みに早く慣れていただきたい。昨年度は34プロジェクトが申請され、今年度実行に移されます。全プロジェクトが上毛新聞等に取り上げられ、ロータリーの公共イメージの向上につながることを期待しています。」とご挨拶いただきました。

続いて、牛久保ロータリー財団委員長からご挨拶ならびに「ロータリー財団の仕組み」についてご講演いただきました。「未来の夢計画が開始し、以前と比べて財団が会員に分かりやすくなった。特に私たちの寄付金の使われ方が明確になった。」というお話を皮切りにロータリー財団の仕組みを分かりやすくご説明いただきました。

次に森田補助金委員長から「補助金の概要・実績・手続き」について、下井田地区補助金委員長から「地区補助金報告の実務・申請の注意点」について具体的事例を示しながら丁寧にご説明いただきました。そして、大島グローバル補助金委員長から「グローバル補助金について」と題し、発表いただいた後、持続可能性に関するRIのDVDを鑑賞し、理解を深め、昼食に移りました。

午後の部に入り、藤丸資金管理委員長から「資金管理委員会について」、北野資金推進委員長から「資金推進・財団寄付について」、川口ポリオ・プラス委員長から「ポリオ・プラスについて」、豊川 VTT 委員長から「職業研修について（VTT）」と題し、ご説明いただきました。

次に中繁奨学会・学友・ロータリー平和フェローシップ委員長から「奨学金・学友会・ロータリーフェローシップについて」と題し、ご説明いただいたのち、アメリカのカリフォルニア大学に留学された品川莉穂さんからロータリー財団奨学生の帰国報告をいただきました。力強い大変素晴らしい発表でした。

休憩をはさみ、地区補助金・グローバル補助金計画事例発表に移りました。

地区補助金の事例発表として前橋東ロータリークラブ町田会長から「子供とふれあい思い出作り」、桐生中央ロータリークラブ遠藤会長から「保育・幼稚園児との食育」、富岡かぶらロータリークラブ高橋直前会長から「東日本大震災復興支援トンボ製作」をテーマに発表いただきました。

続いて、グローバル補助金の事例発表として前橋ロータリークラブ山田直前会長から「モンゴル国立健康科学大学に理学療法学習に必要な器具・器材を寄贈し理学療法士を養成する」プロジェクトについて、沼田ロータリークラブ保坂会長から「ダッカ市内の国立病院へWi-Fiによる遠隔医療のシステムと市内3ヶ所の病院へ端末機器を寄贈し、ヒ素濃度の高い飲料水と疾病の関係のデータを収集し、ヒ素撲滅のモデル地区を目指す」プロジェクトについて申請手続き時の苦労話や現状についてご報告いただきました。

最後に牛久保ロータリー財団委員長から「計画案についてのアドバイス」、高木パストガバナーより講評をいただいたのち、伊能ロータリー財団副委員長の言葉で閉会となりました。



管理運営セミナー報告

クラブ運営上の諸手続きを学ぶ

管理運営・IT 委員長

ガバナーエレクト 竹内 正幸

去る8月8日（木）、猛暑の中、ガバナー事務所がある前橋問屋センター会館で、管理運営セミナーが開催されました。目的は、クラブ運営上の諸手続きについての理解を深め、地区とクラブとの情報連携の強化を図ることでした。

そのため、今回の参加対象者は、各クラブの幹事と事務局員の2名とさせていただきましたが、当日は、幹事39名、事務局員37名（42クラブ）と多数の方々にご出席いただきました。特に勤務形態の様々な事務局員の皆様の派遣に特段のご配慮をいただいた、各クラブ会長の皆様に、改めて御礼申し上げます。

セミナーでは、これまで地区の会員増強・退会防止委員長や管理運営委員長を歴任されてきた本田ガバナーが、自ら、事前アンケートに回答する形で、月末・月初の会員数のカウント法、例会出席率の算出法、地区ウェブサイトでの出席報告等について、資料やスライドを使って、丁寧に解説いたしました。

本田ガバナーは、各種報告書の作成と提出はクラブ幹事の重要任務（職責）であることを強調され、事務局任せにして報告書の書式も見ないことがない幹事が多い現状に注意を喚起されました。

私からは、管理運営委員会が事務局を務める「卓話・研修出前サービス」について、クラブの例会プログラムやクラブ研修での活用を奨励いたしました。

当2840地区は、ウェブサイト（地区ホームページ）の導入については先進地区なのです。様々なクラブ支援の資料やガバナー月信もサイトからダウンロードできますので、積極的にご利用をお願いいたします。

こうした形で事務局員の皆様にお集まりいただいたのは8年ぶりのことで、「日ごろは電話でのやりとりだけの方とお会いできてよかった！」という事務局員の声もありました。1年に1回ぐらいはこういう機会を設けてもよいのでは、と感じました。

地区のガバナー事務所も固定化され（ガバナー事務所とガバナーエレクト事務所の併設）、事務所運営業務も多量・多岐になりつつあります。業務の一層の合理化・効率化を進める必要がありますが、各クラブの皆様のご協力が欠かせないと考えています。各種報告につきましては、これからも、正確な数字を締切日厳守でご提出いただくようお願い申し上げます。



青少年一年交換派遣学生壮行会報告

一年交換派遣学生、行ってらっしゃい！

青少年交換委員会 担当副幹事 星野 洋一

平成 25 年 8 月 11 日（日）、12:30 ～ 14:30 に前橋問屋センター会館にて青少年一年交換派遣学生の壮行会が実施されました。

まずは前原委員長、本田ガバナー、疋田直前ガバナーより出発する学生に向けて大変心のこもった激励のご挨拶を頂きました。いよいよこれからということで、みなさん期待と不安の混じった顔で聞いていたように思います。

オリエンテーションは、前回の夏期交換学生の時と同様、食事をとりながらの進行となりました。最初に前原委員長の進行で派遣学生の浦野真帆さん、萩野谷美岬さん、諸星奈々さん、山田悠介さん、矢部崇人さんよりスピーチが英語と日本語で行われました。レッスンやオリエンテーションでのリハールなど、今までの努力の成果が発揮された素晴らしいスピーチでした。1 年後には更にどれだけ上達しているのか、成長が楽しみです。また、ホストクラブの代表の方にもご登壇いただき、一言ご挨拶を頂戴いたしました。

次に峯岸直前委員長の進行で、2012-2013 年度派遣学生の茂木大知さん、梨本あかねさん、南出萌那さん、平野七瀬さん、布施川祥子さんより帰国挨拶が行われました。さすがに堂々としたスピーチで、これから出発する派遣学生は、先輩の体験談を食い入るように聞いていました。また、本田ガバナーより派遣学生へバッジの授与が行われました。

終わりに、峯岸直前委員長、上代 ROTEX 会長より派遣学生へ激励の言葉を頂きました。峯岸直前委員長からは、選考から今日の壮行会までを振り返り、愛情のこもった叱咤激励の挨拶を頂きました。また、上代 ROTEX 代表からは、ROTEX によるサポートについて、とても頼りになるお話を頂きました。

閉会後も、多くの皆様が残られて積極的に情報交換をされていたのが印象的でした。まさに「期待と不安の入り混じる」状況だと思いますが、健康には十分注意して、精一杯がんばってきてください。素晴らしい 1 年になることをお祈り申し上げます。





パストガバナー エッセイ

「お茶（茶道）」への誘（いざな）い

パストガバナー 森田 均
(2003 — 2004 年度ガバナー)

「お茶（茶道）」というと、ロータリアンの皆さんは、何を連想されるだろうか。

「女性が着飾り、堅苦しい作法に従って点前をし、苦い抹茶を飲むもの」

「家元を頂くいろいろの流派がある、古いしきたりのもとでの稽古事」

このようなところか。

それを男性が嗜むとなると、これは大変なことである。多くの人から、「男がお茶をやるとは、よほどの変わり者か」と好奇の目で見られかねない。

「お茶に多くの時間をかけているというが、何が楽しいのか？」と聞く人がいる。

その答えを用意してみた。

まずお茶は、日本の伝統的な総合文化であるといえる。すなわち茶から始まって菓子、建築、陶磁器や塗物など、さらに漢詩や和歌そしてそれに詠まれた四季折々の風情まで、まさに日本ならではの文化的要素が数多く渾然一体となっているのである。お茶は、楽しみながらこれらを学ぶことのできる良策と思っている。

またお茶は、相手を思いやることや自らの心を清めることなど、心の内面を大切にしている。これらは、千利休のいう「和敬清寂」で象徴される。もとより相手を思いやっていたばかりでは、仕事や社会生活などに勝ち残れないかもしれないが、たまにはとことんそのような気持ちになってみるのも、ある意味で新鮮なことではないだろうか。

そして何よりもお茶の素晴らしいところは、日常の雑念を払拭できることにある。

仕事上のトラブルなどで憂鬱な気分の時でも、茶室に入ると面白いように気持ちが引き締まって雑念が消え、心が落ち着いてくる。加えてお茶を頂く時の至福感は、なんとも形容のしようがない。まさに異次元空間にスリップしたような、そんな雰囲気に入ることができるのは格別である。

ところでどなたも、これまでに一度や二度は茶会に誘われたことがあると思う。

そんな時、「作法を知らないから」とか「人前で恥をかきたくないから」という理由で断ってはいないか。

せっかくの機会なのだから、勇気を出して、茶会に足を向けてみよう。そしてその雰囲気になんか少しでも共感したり、お茶やお菓子が美味しかったと思ったら、まずはお茶の頂き方だけでも、勉強してみてもいいかな（注）。

お茶の点前は、憶えるのに相応の覚悟が必要だが、客として楽しみながら、堂々とお茶を頂けるようになることは、さほど難しくない。

ロータリアンの皆さん、是非一度、お茶の世界すなわち日常からかけ離れた異次元の旅に、ご一緒に出かけてみようではないか。

（注）

当地区には、全国34地区のうち、唯一「茶の湯倶楽部」が存在する。

13年目を迎えた同倶楽部は、現在も積極的に活動しており、主催する茶の湯研修は、1年に春・秋の2回、当年度のガバナー輩出地域で開催されているので、興味のある方はどなたでも（ご家族とご一緒も歓迎）、お気軽にご参加を。





パストガバナー エッセイ

アニメ映画「風立ちぬ」の中の堀越二郎

パストガバナー 安藤 震太郎
(2011-2012年度ガバナー)

私が堀越二郎、そして零式艦上戦闘機の事を知るようになったのは、中学生の時でした。終戦を小学校二年の年に迎えた私には、大人たち誰もがアメリカの圧倒的な物量と技術の前に敗れ去った姿を見て、意気消沈しているのがわかりました。

それが、昭和25年に始まった朝鮮戦争による特需で産業界が潤い、アメリカ軍の後方基地としての役割を担う日本の立場が注目され、自然と戦前戦中のベールがはがされて見直される風潮が実現しました。

そんな時に堀越二郎、奥宮正武の共著で「零戦」が発刊されました。技術者の書いた書籍は数式が混じる分厚い本でしたが、判るところだけ拾い読みし、その卓越した性能と当時のベテランパイロットの活躍に胸を躍らせ、日本が全部悪いわけではない事に胸をなでおろしました。

戦時中の軍部は軍の機密と言うことで、「新鋭戦闘機」とか「〇〇基地」のようにぼかして発表していたので、「零式艦上戦闘機」（通称ゼロ戦）の名称を知る方は少なかったようです。そして、活躍が実名で発表されるや大きな話題となり、現在に至っています。

私が特に注目したのは、堀越二郎が群馬県藤岡の出身で県立藤岡中学校（現在の藤岡中央高等学校）出身の秀才で第一高等学校から東京大学航空学科を昭和二年に卒業、直ちに三菱内燃機（後の三菱航空機（株））に入社し飛行機の設計に取り掛かりました。こんな貴重な秀才が身近なところに居たなんて嬉しく誇らしく思ったものでした。

戦後、堀越二郎やゼロ戦のことにとやかく言われる議論も多いのですが、海軍当局の矛盾するような性能要求に対して、「技術者の仕事は、芸術家の自由奔放な空想と違って、何時も厳しい現実的な条件や要請が付きまとう。私が飛行機の設計を通じて肝に銘じたことは、与えられた条件の中で考えられるぎりぎりの成果と、それをどのようにしたら一歩抜くかを考えていた。」と言うように、合理的で厳しい人間像を考えていました。

長々と堀越二郎のことを書きましたが、映画ではどのように描いたか興味を持って鑑賞に望みました。

かねがね私は歴史や人物像を描くのに、表面に現れている事実はあたかも南極に浮かぶ氷山のようにより一部分であり大部分は水面下で繋がっている。作者は表面に出ている事実をつなげ作品にするが、水面下の大部分は作者の自由奔放な発想でそれをつなげ、そこに自身の主張や時代背景を貼り付けて行く物だと思っています。

そのような目で宮崎駿監督の「風立ちぬ」を鑑賞しました。前半部分の堀越二郎の生い立ちから、

三菱内燃機に就職してドイツの飛行機会社見学での冷遇、そしてアメリカの飛行機会社見学での好印象は事実だったようですが、その日本がドイツと組んでアメリカと戦うことになったのは歴史の皮肉です。

後半部分の、避暑地軽井沢での菜緒子との出会いから結婚にいたるまでの経過は堀辰雄の同名の小説に題を借りています。宮崎駿監督の自由な発想は我々を昭和初期の避暑地の情景や、恋物語として楽しませてくれました。

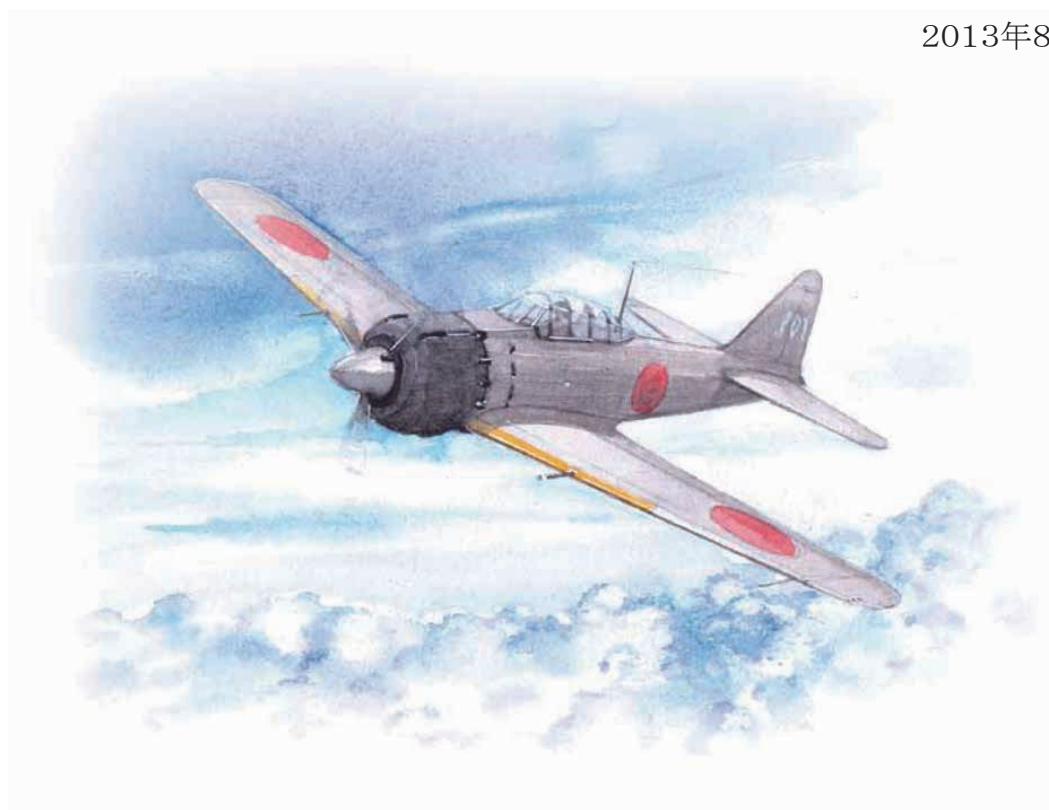
そして、大企業の過酷な要求に苦悩する堀越二郎に対して、飛行機の夢を語る役割としてイタリアのカプローニ伯爵を登場させる宮崎駿監督の世界に引き込まれました。この事は私の雑文で語るよりも、多くの方々に鑑賞してもらいたいと思います。

最後に、昭和11年「九試艦上戦闘機」（九六式艦上戦闘機）が完成し海軍に正式採用され映画は終わります。この飛行機は世界水準を上回る飛行性能を発揮し、次の「十二試艦上戦闘機」（零式艦上戦闘機）の開発に繋がってゆきます。

かつて、終戦までは西の愛知（三菱航空機）、東の群馬（中島飛行機）と航空業界を二分し、両社で4万機以上も製作したその栄光は三菱重工業、富士重工に引き継がれ健在です。

願わくば、次回宮崎駿監督に日本の飛行機王「中島知久平翁」のアニメ映画を制作していただきたいものです

2013年8月9日



ガバナー・コラム **ロータリーの誤解・正解** シリーズ〈第3回〉

第3回「奉仕の理想」はあくまで「理想」でしょ。 でも「現実」は厳しいよね！？ ～「奉仕の理想」をめぐる その2～

ガバナー 本田 博己

「奉仕の理想」か、「奉仕の理念」か？

前回は、「奉仕の理想」の意味について、ロータリー・モットーとの関係に触れながら解説しました。今回は、訳語として「奉仕の理想」が適訳かどうかを見てゆくことから話を始めます。

旧「綱領」の新訳「ロータリーの目的」では、“The Ideal of Service”を「奉仕の理想」から「奉仕の理念」に改訳しています。「Ideal」は『理想』としか訳せない。なぜわざわざ『理念』と訳し変えたのか？と疑問を呈する方がいらっしゃいました。このご意見は、確かに一理あります。「綱領翻訳問題委員会」が数年前に全国ロータリアンに行ったアンケートでも、「奉仕の理想」のままでよいと考えている人が7割近くもいたようです。

前回、訳語の適否を判定する第1のテストは、訳語を和英辞典で引き直してみることだと申し上げましたが、「理想」を引くと、確かに“Ideal”が出てきますので、この点では、「理想」という訳で何の問題もないようです。

適訳かどうかをチェックする第2のテストは、訳語を国語辞典で、原語を英英辞典で引き、語義を比較して見ることです。英語と日本語の意味のズレを、そこから読み取るのです。

訳語の「理想」は、岩波国語辞典（第5版）では、「考える最も完全なもの。（ア）最善の目的。（イ）理念。イデー。」と説明されています。独創的な語釈で有名な新明解国語辞典（第7版）では、「実際には実現出来ないとしても、理念としては追求し続けるところの、最も望ましい状態」として、対義語に「現実」を挙げています。

「理念」は、岩波では、「ものの原型として考えられる、不変の完全な存在。イデー。イデア。」、新明解では、「何を最高のものとするかについての、その人（面で）の根本的な考え方。」となっています。

一方、原語の“Ideal”は、Oxford Dictionary of English では、“a person or thing regarded as perfect” “a standard or principle to be aimed at”。コウビルド英英辞典では、“An ideal is a principle, idea, or standard that seems very good and worth trying to achieve” “Your ideal of something is the person or thing that seems to you to be the best possible of it”。ロングマン現代英英辞典では、“a principle about what is morally right or a perfect standard that you hope to achieve” “a perfect example of what something should be like” というような語義が並んでいます。



いかがでしょうか。日本語の「理想」と英語の“Ideal”には少し語義のズレがあるようです。「理想」には「実際には実現出来ない」（新明解）、「現実的ではない」というニュアンスがあるのですが、“Ideal”は、「実際に目標とすべき、また達成すべき原則や観念や規範」という語義が中心です。もう一度和英辞典（ジーニアス和英辞典）で「理想」を確認すると、“ideal”と並んで“dream”が載っています。

新訳は、「理想」という日本語が持っている「夢のような」「非現実的な」というニュアンスを嫌って、「理念」と訳し変えたのだと思われます。実際、英英辞典の“Ideal”の語義は、「理念」という日本語に近いと思われます。

このシリーズでは、今後新訳に従って「奉仕の理念」という訳語を使いますが、実は、私は“The Ideal of Service”を「奉仕の理念」と訳しただけでは、まだ原語の意味が十分に表現できていない、と考えています。

原語には“The Ideal”と定冠詞“the”が付いています。これは、“The Ideal of Service”が「ロータリー固有の」観念であることを示しています。また、“Service”を「奉仕」と直訳しただけでは、ロータリー固有の“Service”の意味には辿り着けません。

私は“The Ideal of Service”を、仮に「**ロータリーが考え実践してきた究極の“Service”のかたち**」と言い換えています。これでは、訳語としては成立しませんね。「奉仕」と直訳できない、ロータリーの“Service”とはどういう意味を持っているのでしょうか。

“Service”とは何か？

ロータリー独自の“Service”概念を確立したのが、「ロータリーの哲学者」といわれ、ロータリーの第2モットー「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」の作者で知られる、アーサー・フレデリック・シェルドンです。

シェルドンは、1921年「ロータリーの哲学」という論文の中で、ロータリーの“Service”の意義を詳しく論じています。

シェルドンは「ロータリーの哲学は、Serviceの哲学である」と主張します。そして、シェルドンは、“Service”と“Profit”とは、原因と結果の関係にある、と言います。“Service”があるから“Profit”が生じる。“Service”が先で、“Profit”はその結果である、と言うのです。

原因としての“Service”は、「正しい質」・「正しい量」・「正しい行動様式」で構成されており、一方、結果としての“Profit”は、仲間からの尊敬や自尊心の満足といった精神的な充実感と、物質的・金銭的な利益の両面を意味しています。

シェルドンの言葉は金銭的な利益を求める功利主義と誤解されることがある（特にイギリスのロータリアンから）のですが、“Profit”が単に「金銭的な利益」を指しているのではないこと、利益は目的ではなく結果であることがこの論文を読むとよくわかります。



それでは、シェルドンの言う“Service”の「正しい質」・「正しい量」・「正しい行動様式」とは、具体的には何を指しているのでしょうか。それは、「高い品質、適正な価格」「豊富な品揃え」「経営者・従業員の適切な接客態度」「公正な広告」「豊富な商品知識、高度な専門知識」「十分なアフター・サービス」といった、現代企業が顧客の信頼を得るのに必須の「サービス」と異なりません。

1927年、「四大奉仕」の枠組みが確立し、以来「職業奉仕委員会」と呼ばれるようになった前身の委員会は、“Business Method Committee”という名称で、アーサー・シェルドンがその初代委員長でした。当時、ロータリーにおいて“Service”という言葉は、「正しいビジネスの方法」を示す中核概念だったのです。

「サービス」という日本語は、現代日本では「値引き」「おまけ」「無料」などの意味で使われることが多く、また、「商品」(モノ)に対して人的労力の提供を「サービス」と呼んでいます。

“Service”が正しいビジネスの方法を意味していたシェルドンの時代から、100年後の現代では、ロータリーの“Service”の分野は広範囲に広がっています。1927年に確立した「四大奉仕」は、2010年には「青少年奉仕」を加えて「五大奉仕」となりました。1985年から始まったポリオ・プラス・プログラムは、“END POLIO NOW”としてポリオ撲滅の最終局面を迎えています。2000年代に入って、国際ロータリーは「戦略計画」を策定し、「人道的奉仕」の分野に重点を置く方向性を打ち出しました。2013年からは、ロータリー財団の「未来の夢計画」も始まりました。

このような現代ロータリーにおいては、“Service”を、その最も広い意味で使うようになっています。すなわち、

「社会に役立つ価値を提供すること」

「世のため人のために尽くすこと」

ロータリーは、職業人の集まりですから、その“Service”は先ず自らの職業で発揮されることになります。それを「職業奉仕」と呼びます。自らの職業のサービス・レベルを高め、社会に貢献できるよう努めることが、ロータリアンの最優先課題といってもよいでしょう。

ロータリーの「奉仕の理念」を私なりに要約すれば、世のため人のために自分がもっている能力を全力で心をこめて捧げること、そうした利他の精神が自分の幸せにつながる自分を活かす道である、ということです。

ロータリーの目的は、次のように言い換えることができます。

ロータリーの目的は、「奉仕の理念」を広め、その価値を高めてゆくこと、であると。そして、ロータリアンとは、個人生活・職業生活・社会生活等、人生のすべての面で、「奉仕の理念」の研鑽と実践を行う人である、ということです。

前回ご紹介した「目標設定計画」(The Aims and Objects Plan 1931)というパンフレットの中で、「奉



仕の理念」(奉仕の理想)は私たち個人にとって何を意味するか?という問いが、最後に投げかけられています。

「職業奉仕も含めて「奉仕の理念」の解釈は意図的にロータリアン各自およびロータリアンのグループに任されている。その適用は広範で多様な状況、問題、可能性に対応して実行されなければならない。ロータリアン個人が“私の職業を通じて「奉仕の理念」を適用するとは自分にとって何を意味するのか?”という問いに自ら答えることができなくてはならない。」

私たちがロータリアンであるとは、一つの生き方を選択したということだと思います。ロータリーの「奉仕の理念」は、どこか遠くにあって仰ぎ見るものではなく、自分の個人生活・職業生活・社会生活の中に実現すべきものでしょう。ロータリーの「奉仕の理念」の実践が、社会の中で自分を活かす道であり、社会をよい方向に導く強い力をもっていることを私たちはもっと信じてよいのではないのでしょうか。



国際ロータリー第2840地区 2013－2014年度

地区大会のご案内

大会テーマ「希望を語ろう！」

大会プログラム

第1日目 2013年10月26日（土）

会場 前橋商工会議所会館

●地区指導者育成セミナー

13：30 登録開始 開場

14：00 開会

14：10 第1部 RI会長代理記念講演

15：15 第2部 セッション

17：05 終了

●RI会長代理歓迎晚餐会

17：30～20：00

第2日目 2013年10月27日（日）

会場 ベイシア文化ホール（群馬県民会館）

9：00 登録開始 開場 友愛の広場

10：00 点鐘

10：30 RI会長代理 挨拶・講話

11：00 ガバナー報告

13：45 記念事業発表・各種表彰

14：15 RI会長代理 講演

15：00 参加クラブ紹介

ロータリーモメント発表

16：30 ガバナーエレクト紹介・挨拶

ガバナーノミニー紹介・挨拶

17：00 ガバナー謝辞・点鐘

17：30 懇親会（前橋商工会議所会館）

地区大会の見どころ

①ロータリーモメント発表

サンディエゴでの国際協議会では、毎日の本会議で my rotary moment 「私がロータリーに打ち込むきっかけとなった感動体験」のスピーチがあるそうです。

ロータリアンであれば誰でもこのような感動的な決定的瞬間を経験されているのではないのでしょうか？

今回は各クラブから私のロータリーモメントを募集し、代表の方々に地区大会で大いに語っていただきます。また、文集にまとめ、参加者全員に配布いたします。

2840地区の仲間の感動体験を聴くことにより、ロータリアンで良かったと実感すると共に大いに刺激を受けること間違いなしです。ご期待ください。

②「友愛の広場」

10月27日（日）は地区大会会場であるベイシア文化ホールロビーにて「友愛の広場」を開設します。

2840地区内の各クラブや各委員会の自慢比べや名産品の販売ブースを設け、各地よりお越し頂いたロータリアンにお楽しみいただきます。

昼食と広場での交流に1時間半と十分に時間を取っていますので各ブースの自慢の品々を堪能しながらワイワイと語り合い、交流を深めていただければ幸いです。地区大会は私たち「ロータリアンのお祭り」です。大いに盛り上がりましょう！

●RI 会長代理のご紹介

江崎 柳節（えさき りゅうせつ）氏

プロフィール

1934年（昭和9年）7月

所属クラブ 小牧ロータリークラブ（愛知県）

医療法人柳雪会江崎外科内科名誉理事長



1959年名古屋市立大学医学部卒業後、同大学医学部第1外科配属、1968年医学博士となる。その後、名古屋市立大学講師、助教授を歴任され、1978年医療法人柳雪会江崎病院（後に医療法人江崎外科内科）を開院。

ロータリー歴は1982年小牧ロータリークラブに入会、クラブ幹事、クラブ会長、第2760地区ガバナー、国際ロータリー研修リーダー、ゾーン・チャレンジ・コーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーター、ロータリー日本財団理事、RI2630地区大会、RI2670地区大会、RI2800地区大会RI会長代理等数々の役職を歴任。

また、ポールハリスフェロー（マルティプル）、米山功労者、メジャードナー、国際奉仕ガバナー特別賞（2002年）受賞。

著書に「ロータリーマジック」（中部経済新聞社刊）他がございます。

各種学会にも所属され、多方面にわたりご活躍中です。

※ 地区指導者育成セミナー、地区大会におきまして御講演いただきます。

ご期待ください。

しゅんすけ君の心臓移植のための 募金にご協力お願いいたします



しゅんすけ君
10歳

募金目標金額
1億7千万円

群馬県桐生市在住のしゅんすけ君（10歳）は、難病の
特発性拡張型心筋症の症状があり、東京女子医大へ入院
しました。昨年の12月7日にカテーテル検査を受けま
したが、検査中に重篤な状態となり、除細動（電気ショック）
を5回行った後、ICUに入りました。

教授、主治医より心臓移植のほかに助けることができな
いと診断されました。

現在、日本国内においても15歳以下の子供が臓器移植
できる法整備がなされましたが、日本に小児のドナーが
極めて少ないため、一刻も早い心臓移植を必要とするしゅ
んすけ君には、日本国内での移植を待つ猶予は全くあり
ません。

幸いにも多くの先生方のご尽力により、このたび7月
6日にアメリカのコロンビア大学が受け入れをしてくれ
ることが決まりました。

海外における移植は、日本国内の公的な医療保険が一
切受けられないため、莫大な費用がかかります。

この莫大な費用をごく普通の家族では到底かなえるこ
とができません。

多くの皆さんの善意にすぎるしか助ける手段もない私
達は「しゅんすけ君を救う会」を立ち上げ、海外での移
植を支援するための募金活動を始めることにしました。

どうぞ皆さま方の温かいご支援とご協力を心より願
い申し上げます。

募金のお振込先

金融機関名	口座記号番号	口座名
三井住友銀行 太田支店	普通 4131684	しゅんすけ君を 救う会
ゆうちょ銀行 (同銀行内から)	10410 13268651	
ゆうちょ銀行 (他銀行から) 〇四八 (048)	普通 1326865	
東和銀行 桐生支店	普通 3075533	



お問い合わせ しゅんすけ君を救う会 事務局

〒376-0014 群馬県桐生市広沢町間ノ島373 長野刺繍工業 方 開設時間 午前10時～午後3時

Mail info@save-shunshun.com

TEL 0277-32-3158

HP http://www.save-shunshun.com

FAX 0277-47-6781

応援しています！ NPO 法人 日本移植支援協会

地元である我々桐生市内の5つのロータリークラブが一致団結して協力していきたいと考えておりますが、是非とも2840地区全体にお声掛けをお願いし、支援活動を広げていただければ幸いです。

第2分区A	ガバナー補佐	星野 榮助	桐生ロータリークラブ	会 長	牛腸 章
桐生南ロータリークラブ	会 長	上野 文雄	桐生西ロータリークラブ	会 長	阿左美 博
桐生中央ロータリークラブ	会 長	遠藤二三男	桐生赤城ロータリークラブ	会 長	飯山 繁

RIの新ウェブサイト公開

(8月26日より公開中)

新ウェブサイトは、登録者専用サイトと、一般向けのサイトの2つに分かれています。主要な機能は以下の通りです。

My ROTARY（登録者専用サイト）

- ・ My ROTARY に登録してログインし、その後も毎回ウェブサイトを訪問する度にログインすれば、その人の関心やロータリーでの役割に応じてカスタマイズされた情報や機能が利用でき、これまでよりも簡単に手続や資料探しを行うことができます。
- ・ 新ウェブサイトの導入により、「会員アクセス」が廃止されます。すでに会員アクセスにご登録いただいている場合、新ウェブサイトを初めて訪問する際に、会員アクセス用のユーザー名・パスワードを利用して、再登録をしていただくこととなります。再登録を済ませると、これまで会員アクセスを通じて利用可能だったツールや機能（ロータリークラブ・セントラルや、地区における各種任命手続など）にアクセスできます。

Rotary.org（一般向けサイト）

- ・ ロータリーの魅力や、世界中でロータリアンが行う活動について、生き生きと伝えているのが一般向けのサイトです。ロータリーのストーリーを分かりやすく簡潔に、新鮮な視点から伝えていきます。

見つけたいものをすぐに見せるサイト

- ・ 新ウェブサイトは、全く新しいナビゲーションとなり、情報がもっと合理的に分類されています。事前のユーザーテストでは、新ウェブサイトは現ウェブサイトと比較して使いやすく、分かりやすい内容になっているという結果が出ました。例えば、報告書提出などのロータリー手続きに必要なツールはすべて、「運営する」の項目にまとめられています。
- ・ 新ウェブサイト内の検索機能は、グーグルの検索テクノロジーが導入されており、見つけたい資料、記事、ツールを、より簡単に検索できるようになります。



重要な変更点

- ・「このクラブに連絡」の機能：新ウェブサイトへの訪問者は、ロータリークラブへの入会に関心がある場合、または特定のクラブについて問い合わせたい場合に、直接クラブに連絡することができます。RI 理事会は、この E メール連絡が直接地区ガバナーと地区会員増強委員長に自動的に送られることを承認しました。これにより、皆さまがより迅速に問い合わせに対応することが可能となります。
- ・ロータリー財団補助金：既にこの「ロータリーの補助金サイト」をご覧になった方もいらっしゃると思いますが、ここには補助金に関する情報がすべて詰まっています。この補助金サイトの機能が、新ウェブサイト統合されますので、補助金に関する手続きを一カ所で行うことができます。
- ・新ウェブサイトでは、最新テクノロジーを使ってユーザー ID とパスワードを保護しています。高いセキュリティレベルを保つため、昨年から一度も会員アクセスにログインしていないユーザーには、簡単な再登録の手続きを行っていただく必要があります。
- ・新ウェブサイトは、最新のインターネットブラウザに対応したものとなっています。ブラウザの種類は問いませんが、新ウェブサイトを最大活用していただくために、最新のブラウザにアップグレードすることをお勧めいたします。

国際ロータリー第2840地区 竹内ガバナーエレクト事務所

開設のご挨拶

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度下記の通り「竹内ガバナーエレクト事務所」を開設致しましたので、謹んでご案内申し上げます。

今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2013 ～ 2014 年度 国際ロータリー第2840地区
竹内 正幸 ガバナーエレクト事務所

所在地：〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2

前橋問屋センター会館 1F

TEL：027-212-2840

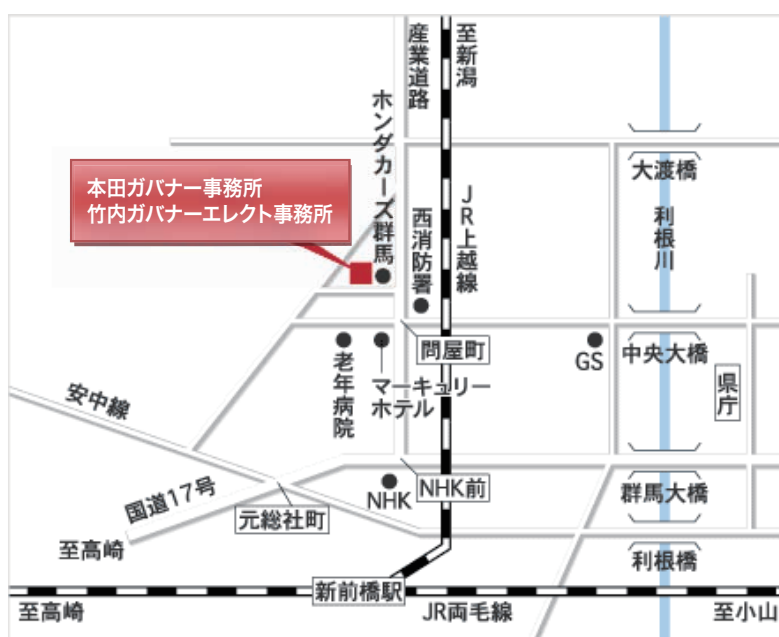
FAX：027-212-2841

E-mail：takeuchi@rid2840.jp

勤務時間：午前10時～午後5時（土・日・祝日は休み）

事務局員 入山 こず江・須藤 真希子

※当事務所は本田ガバナー事務所に併設となります。





2013-2014年度 地区主要行事一覧 (年度前・上期)

	開催日	項 目	場 所
2012年	10月26日(金)27日(土)	第1回ガバナー補佐会議	ヘルシーパル赤城
	11月11日(日)	疋田年度 R財団補助金・管理セミナー	伊勢崎ブリオパレス
	11月29日(木)30日(金)	ガバナー・エレクト&次期米山奨学委員長合同セミナー	メルパルク東京
	12月 1日(土)	第1回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議・研修委員会	前橋問屋センター会館
2013年	1月 5日(土)	第3回ガバナー諮問委員会・GE壮行会(疋田事務所主催)	桐生市市民文化会館
	1月13日～19日	国際協議会(ガバナー・エレクト)	サンディエゴ
	2月 2日(土)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)(疋田事務所主催)	桐生倶楽部
	2月10日(日)	地区チーム研修セミナー	前橋商工会議所
	3月16日(土)	会長エレクト・次年度幹事研修セミナー (PETS・SETS)	伊香保 福一
	3月17日(日)	会長エレクト・次年度幹事研修セミナー (PETS・SETS)	伊香保 福一
	3月19日(火)	全国会員増強セミナー	ハイアットリージェンシー
	4月 6日(土)	ロータリー財団委員会 合同会議	伊勢崎ブリオパレス
	4月14日(日)	第2回ガバナー補佐・委員長予定者合同会議・研修委員会	前橋問屋センター会館
	4月21日(日)～26日(金)	規定審議会	シカゴ
	5月12日(日)	国際ロータリー第2840地区協議会	前橋商工会議所
	5月17日(金)18日(土)	ロータリー世界平和フォーラム広島	広島国際会議場
	5月26日(日)	11:00第2回ガバナー補佐会議 13:00地区会員増強セミナー	前橋問屋センター会館
	6月15日(土)	第5回ガバナー諮問委員会(疋田事務所主催)	桐生
	6月15日(土)	新旧地区役員連絡会議(疋田事務所主催)	桐生
	6月16日(日)	RAC地区協議会	群馬県昭和庁舎
	6月23日～26日	国際大会(本田ガバナーエレクト出席)	リスボン
	6月30日(日)	ロータリー財団地域セミナー	グランドプリンスホテル高輪
	7月 1日(月)	ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪
	7月 6日(土)	インターアクト合同会議	高崎商科大学
	7月 6日(土)	第1回補助金委員会	伊勢崎ブリオパレス
	7月13日(土)	第1回ガバナー諮問委員会	音羽の森 音羽倶楽部
	7月14日(日)	青少年交換委員会(夏期交換学生壮行会・歓迎会)	前橋問屋センター会館
	7月21日(日)	RLIディスカッションリーダー研修会 Part I	前橋問屋センター会館
	7月27日(土)	インターアクト年次大会	高崎商科大学
	8月 3日(土)	10:00 地区ロータリー財団セミナー	伊勢崎ブリオパレス
	8月 8日(木)	管理運営セミナー	前橋問屋センター会館
	8月10日(土)	RLIディスカッションリーダー研修会 Part II	前橋問屋センター会館
	8月11日(日)	青少年交換委員会(一年交換学生壮行会)	前橋問屋センター会館
	8月22日(木)	米山指定校説明会	前橋問屋センター会館
	8月31日(土)	青少年交換委員会(帰朝報告会)	前橋商工会議所
	9月14日(土)	地区米山奨学研修セミナー	前橋問屋センター会館
	9月22日(日)	RLIパート I	前橋問屋センター会館
	9月28日(土)	10:30 第3回 ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館
	9月28日(土)	13:30 第2回ガバナー諮問委員会	前橋問屋センター会館
	9月29日(日)	地区大会記念ゴルフ大会	サンコー72カントリークラブ
	10月 5日(土)	青少年交換委員会	
	10月19日(土)	青少年交換委員会	
	10月26日(土)	地区指導者育成セミナー	前橋商工会議所
	10月26日(土)	RI会長代理歓迎晩餐会	前橋商工会議所
	10月27日(日)	地区大会	ベシア文化ホール(群馬県民会館)
	11月3日(日)・4日(月)	RYLA研修会	館林
	11月 9日(土)	青少年交換学生選考会	前橋問屋センター会館
	11月10日(日)	RLIパート II	前橋問屋センター会館
	11月16日(土)	10:00 補助金管理セミナー	伊勢崎ブリオパレス



2013年	12月 1日(日)	ロータリー財団地域セミナー(ゾーンセミナー)	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月 2日(月)	ガバナー会(GETS)	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月3日(火)4日(水)	ロータリー研究会	東京 グランパシフィック La DAIBA
	12月 7日(土)	米山学友会クリスマス会	前橋商工会議所
	12月 7日(土)	青少年交換委員会	
	12月 8日(日)	RLIパートⅢ	前橋問屋センター会館
	12月 日(日)	茶の湯研修会	
	12月23日(月)	青少年交換学生クリスマス会	前橋商工会議所

2013-2014年度 地区主要行事一覧 (下期)

2014年	1月 6日(月)	16:00 第3回ガバナー諮問委員会 18:00 GE壮行会	ラ・フォンテーヌ
	1月18日(土)	10:00 第1回地区補助金審査会	伊勢崎ブリオパレス
	1月26日(日)	米山記念奨学生選考会	前橋問屋センター会館
	2月 1日(土)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)・規定審議会補欠議員選出	前橋問屋センター会館
	2月15日(土)	米山奨学生修了式・奨学生歓送会	前橋商工会議所
	2月23日(日)	新会員セミナー(RLI方式 1日コース)	前橋問屋センター会館
	3月20日(木)~23日(日)	インターアクト国際交流事業	台湾
	4月19日(土)	新規米山奨学生カウンセラーセミナー	前橋問屋センター会館
	4月19日(土)	新規米山奨学生カウンセラー・米山奨学生オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	4月26日(土)	10:00 地区補助金最終審査会	伊勢崎ブリオパレス
	4月25日(金)~26日(土)	インターアクト国際交流事業(受け入れ)	高崎商科大学
	5月25日(日)	16:00 第5回ガバナー諮問委員会	群馬県庁
	5月25日(日)	18:00 新旧地区役員連絡会議	群馬県庁
	6月1日(日)~4日(水)	国際大会	シドニー
	6月15日(日)	米山記念奨学生学友会総会	前橋商工会議所
	8月	会計監査報告	

2013-2014年度 周年行事予定クラブ

クラブ名	周年	予 定 日	開 催 場 所
前橋中央	20	2014年3月 1日(土)	前橋商工会議所
富岡中央	20	2014年3月 8日(土)	ホテルアミューズ富岡
高崎	60	2014年3月24日(月)	高崎ビューホテル
伊勢崎	60	2014年4月 5日(土)	伊勢崎ブリオパレス
前橋	60	2014年4月12日(土)	前橋商工会議所
館林東	30	2014年4月20日(日)	レストラン ジョイハウス
渋川みどり	20	2014年4月29日(火)	アネーリ渋川
高崎サトル	15	2014年4月	高崎ビューホテル
前橋西	50	2014年5月10日(土)	前橋中央パソ広場(式典)・前橋リサ(記念事業)
伊勢崎東	20	2014年6月	伊勢崎ブリオパレス
藤岡	50	2014年5月17日(土)	藤岡市みかぼみらい館

新会員紹介



新会員名 日高 健次
ク ラ ブ 前橋
入 会 日 2013年7月16日
職業分類 電気通信事業
勤 務 先 (株)NTTドコモ群馬支店
役 職 支店長
推 薦 者 藤澤 茂



新会員名 藤原 昌幸
ク ラ ブ 前橋
入 会 日 2013年7月16日
職業分類 冷暖房工事
勤 務 先 (株)ヤマト
役 職 取締役常務執行役員
推 薦 者 津久井 勇



新会員名 森澤 泰治
ク ラ ブ 前橋
入 会 日 2013年7月16日
職業分類 損害保険
勤 務 先 東京海上日動火災保険群馬支店
役 職 支店長
推 薦 者 曾我 孝之



新会員名 松島 光雄
ク ラ ブ 伊勢崎
入 会 日 2013年7月17日
職業分類 インターネットサービス業
勤 務 先 アバウトネット株式会社
役 職 代表取締役
推 薦 者 平田 進・大和 勲



新会員名 前田 昌敬
ク ラ ブ 群馬境
入 会 日 2013年7月18日
職業分類 合成樹脂製造販売
勤 務 先 積水化学工業(株)群馬工場
役 職 工場長
推 薦 者 金井 重明



新会員名 川田 寛善
ク ラ ブ 太田西
入 会 日 2013年7月1日
職業分類 設備
勤 務 先 有限会社 サンクリア
役 職 取締役会長
推 薦 者 長坂 正信



新会員名 栗原 好保
ク ラ ブ 太田西
入 会 日 2013年7月1日
職業分類 清掃業
勤 務 先 尾島町浄化槽維持管理センター
役 職 代 表
推 薦 者 長坂 正信



新会員名 鵜飼 政彦
ク ラ ブ 太田中央
入 会 日 2013年8月2日
職業分類 会計士
勤 務 先 (有)鵜飼会計事務所
役 職 代表取締役
推 薦 者 大谷 祐三



新会員名 戸谷 正幸
ク ラ ブ 館林
入 会 日 2013年8月9日
職業分類 商業銀行
勤 務 先 (株)群馬銀行 館林支店
役 職 支店長
推 薦 者 原 初次・小暮 雅丈



新会員名 吉田 豊彦
ク ラ ブ 館林
入 会 日 2013年8月9日
職業分類 身体障害者施設
勤 務 先 社会福祉法人 館林つつじ会
役 職 理事兼施設長
推 薦 者 浦野 隆・齊藤 要



新会員名 久保田 一郎
ク ラ ブ 大泉
入 会 日 2013年7月3日
職業分類 不動産管理
勤 務 先 自 営
役 職
推 薦 者 川島 健一



新会員名 平賀 真明
ク ラ ブ 大泉
入 会 日 2013年7月3日
職業分類 弁護士
勤 務 先 いずみ法律事務所
役 職 代 表
推 薦 者 阿部 欣也



新会員名 阿部 弘幸
ク ラ ブ 大泉
入 会 日 2013年7月10日
職業分類 内科医
勤 務 先 医療法人 良治会 阿部医院
役 職 理事長
推 薦 者 川島 満男、松本 恵理子



新会員名 田島 成久
ク ラ ブ 大泉
入 会 日 2013年7月17日
職業分類 地方銀行
勤 務 先 東和銀行 大泉営業本部
役 職 本部長兼支店長
推 薦 者 茂木 聖二



新会員名 津久井 茂
ク ラ ブ 沼田中央
入 会 日 2013年7月25日
職業分類 レタス農家
勤 務 先 津久井農園
役 職 代 表
推 薦 者 林 康夫



新会員名 原澤 ふじ子
ク ラ ブ 沼田中央
入 会 日 2013年8月1日
職業分類 各種印刷・デザイン
勤 務 先 有コトブキ印刷
役 職 代表取締役
推 薦 者 生方 眞司



新会員名 山口 昌彦
ク ラ ブ 藤岡
入 会 日 2013年5月23日
職業分類 総合建設
勤 務 先 (株)イノウエ建設工業
役 職 代表取締役
推 薦 者 吉村 康弘



新会員名 小杉 哲哉
ク ラ ブ 安中
入 会 日 2013年7月2日
職業分類 地方銀行
勤 務 先 (株)東和銀行 安中支店
役 職 支店長
推 薦 者 新野 正行



新会員名 横尾 利一
ク ラ ブ 安中
入 会 日 2013年7月16日
職業分類 商業銀行
勤 務 先 群馬銀行 安中支店
役 職 支店長
推 薦 者 新野 正行



訃報 心より哀悼の意を表します。

山田 悟史 会員

- ・太田ロータリークラブ
- ・山田社会保険労務士事務所 所長
- ・2013 年 7 月 19 日逝去
- ・享年 59 歳
- ・2002 年 3 月 14 日入会



その訃報は突然届いた！

体調を崩しているとは聞いていたが？まさか亡くなるとは思っていませんでした。享年 59 歳早すぎる！7 月に入ったら、会長として様子を伺いにお邪魔したいと思っていた矢先の連絡に、伺えなかった後悔が頭をよぎった。山田会員との接点はあまりなかったが、卓話で「新年金制度」の話をされていたことがすぐに脳裏をかすめた！この年金制度に関する一人者として太田市はとても大切な逸材を失ってしまった。

今は静かにご冥福を祈るばかりです。

合掌

太田ロータリー会長 田部井敏弘



文庫通信 (312 号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演より

- ◎「日本人が知るべき、日本人の精神・美しさ・誇りとは…」 竹田恒泰
2013 6p (D.2600 地区大会報告書)
- ◎「チーム力」 柿本倫明 2013 5p (D.2600 中信第二グループ IM 報告書)
- ◎「“超”ものづくりへの挑戦ーこれからの100年をデザインする」 奥山清行 2012 27p
(D.2550 地区大会記念誌)
- ◎「動物と人 共に生きる」 伊藤年一 2012 7p (D.2750 インターアクト年次大会報告書)
- ◎「思いやりの気持ちが平和をつくる」 紺野美沙子 2013 2p
(D.2760 地区大会記録誌)
- ◎「進化するX線技術と社会へのインパクト」 村松康司 [2013] 2p
(D.2680 西播第2グループ IMReport)
- ◎「私の登った外国の山々」 渡辺玉枝 2013 4p (米山梅吉記念館館報 21号)
- ◎「『荒城の月』原曲」 岡村 健 2012 4p (福岡南 R. C. 会報)
- ◎「『故郷：ふるさと』～柳の下のだじょう?」 岡村 健 2012 6p (福岡南 R. C. 会報)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

第2840地区

7月出席報告

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
46	1,875	1,875	1,896	21	79	85.14

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第1分区	前橋	5	85.68	111	111	111	0	6
	前橋西	4	82.69	52	52	52	0	4
	前橋東	5	90.32	65	65	65	0	4
	前橋北	4	91.28	64	64	69	5	5
	前橋南	4	96.10	32	32	32	0	0
	前橋中央	5	74.38	33	33	32	-1	6
	合計		86.74	357	357	361	4	25
第2分区A	桐生	4	90.10	61	61	61	0	0
	桐生南	5	79.13	23	23	23	0	0
	桐生西	4	93.50	53	53	53	0	1
	桐生中央	4	71.87	24	24	24	0	3
	桐生赤城	5	86.00	42	42	43	1	5
	合計		84.12	203	203	204	1	9
第2分区B	伊勢崎	5	91.46	72	72	74	2	0
	群馬境	4	87.50	29	29	29	0	1
	伊勢崎中央	4	88.89	64	64	64	0	0
	伊勢崎南	4	84.52	21	21	21	0	1
	伊勢崎東	4	91.67	30	30	30	0	2
	合計		88.81	216	216	218	2	4
第3分区	高崎	4	88.12	61	61	61	0	0
	高崎南	4	79.03	62	62	62	0	5
	高崎北	5	71.52	63	63	69	6	0
	高崎東	4	82.44	37	37	38	1	1
	高崎ツフォニー	4	80.41	36	36	37	1	4
	高崎セトリル	4	84.44	34	34	36	2	0
	合計		80.99	293	293	303	10	10

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第4分区A	太田	4	90.81	69	69	68	-1	3
	太田西	4	90.65	15	15	17	2	2
	太田南	4	84.89	38	38	38	0	0
	新田	4	82.46	23	23	21	-2	0
	太田中央	4	90.26	44	44	43	-1	2
	合計		87.81	189	189	187	-2	7
第4分区B	館林	4	84.66	44	44	43	-1	0
	大泉	4	82.50	25	25	28	3	2
	館林西	5	87.36	20	20	20	0	0
	館林東	5	87.49	25	25	26	1	2
	館林ミニアム	4	95.69	25	25	25	0	0
	合計		87.47	139	139	142	3	4
第5分区	渋川	5	96.74	54	54	54	0	4
	沼田	5	81.00	60	60	61	1	1
	草津	4	72.85	16	16	16	0	1
	中之条	4	93.33	23	23	23	0	1
	沼田中央	4	86.83	51	51	53	2	0
	渋川みどり	4	84.43	40	40	40	0	2
	合計		85.86	244	244	247	3	9
第6分区	富岡	5	93.48	48	48	48	0	4
	藤岡	4	85.47	43	43	42	-1	1
	安中	4	76.29	28	28	28	0	0
	藤岡北	5	81.26	14	14	16	2	2
	富岡中央	4	95.21	42	42	41	-1	1
	碓氷安中	4	73.22	14	14	14	0	2
	藤岡南	4	73.53	17	17	17	0	1
第6分区	富岡かぶら	5	75.55	28	28	28	0	0
	合計		81.75	234	234	234	0	11

2012-13 年度 全国会員数の推移 1～3ゾーン会員数調査報告書

報告者 RC (ロータリーコーディネーター) 桑原 茂

ゾーン	地区	期首 クラブ数	12・7・1人頭分担金		6月末 会員数		7月1日-6月末純増数		6月脱会クラブ		
			支払人数	内女性		内女性		内女性	クラブ数	RC名	会員数
1	2500	66	2,177	72	2,188	72	11	0			
	2510	72	2,560	116	2,539	115	-21	-1	1	札幌あけぼの	15
	2520	81	2,172	90	2,243	105	71	15			
	2530	67	2,232	146	2,256	146	24	0			
	2540	42	995	56	1,040	57	45	1			
	2550	50	1,663	67	1,649	64	-14	-3			
	2560	57	1,996	130	2,009	137	13	7			
	2570	52	1,722	74	1,710	77	-12	3			
	2770	75	2,441	127	2,554	157	113	30			
	2790	84	2,689	131	2,705	142	16	11			
	2800	52	1,612	69	1,624	78	12	9	1	河西ダリア	8
	2820	59	1,983	111	1,991	116	8	5	1	常陸大宮	6
	2830	41	1,077	58	1,125	67	48	9			
	2840	47	1,911	73	1,875	77	-36	4	1	みなかみ	5
1ゾーン合計		845	27,230	1,320	27,508	1,410	278	90	4		34
2	2580	71	3,024	118	2,965	117	-59	-1			
	2590	62	2,188	137	2,157	141	-31	4			
	2600	56	2,014	74	1,969	74	-45	0			
	2610	66	2,600	141	2,613	148	13	7			
	2620	78	3,013	152	2,979	151	-34	-1			
	2630	80	3,110	100	3,057	105	-53	5			
	2750	93	4,485	405	4,552	415	67	10			
	2760	82	4,792	170	4,777	190	-15	20			
	2780	63	2,184	166	2,222	172	38	6			
2ゾーン合計		651	27,410	1,463	27,291	1,513	-119	50			
3	2640	73	2,058	146	1,956	158	-102	12	2	堺西/堺北西南西	32
	2650	97	4,498	125	4,457	141	-41	16	1	大津唐橋	13
	2660	83	3,619	200	3,603	223	-16	23			
	2670	74	2,923	127	2,924	132	1	5			
	2680	74	2,899	80	2,862	82	-37	2			
	2690	67	3,057	152	3,036	165	-21	13			
	2700	61	3,086	101	3,103	113	17	12			
	2710	74	3,197	124	3,220	131	23	7	1	山口中央	6
	2720	75	2,380	141	2,375	152	-5	11	1	松橋	4
	2730	64	2,281	149	2,278	168	-3	19			
	2740	57	2,161	73	2,169	79	8	6			
3ゾーン合計		799	32,159	1,418	31,983	1,544	-176	126	5		55
総合計		2295	86,799	4,201	86,782	4,467	-17	266	9		89



ガバナー月信についてのお願い

- ガバナー月信の配信は、毎月 1 日です。

また、2840 地区ホームページ <http://www.rid2840.jp> でも閲覧可能です。

- 出席報告の締切りは、毎月 14 日です。

出席報告は地区ホームページのトップページより入力してください。

なお、IDとパスワードは各事務所で御承知と思いますが、不明なクラブは本田ガバナー事務所までお問い合わせください。

- 原稿の締切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付し、本田ガバナー事務所 honda@rid2840.jp まで送信してください。

なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。

- 新会員情報並びに訃報の締切りは、毎月 15 日です。

(15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。)

新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、メールにて本田ガバナー事務所までお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、メール添付をお願いします。

※この月信のPDFデータを印刷して、各クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただくと共に会長の時間の中で要点を会員へお伝えいただければ幸いです。

編集後記

「ガバナー月信」9月号いかがだったでしょうか？

今月は「新世代のための月間」の特集として松倉パストガバナーに寄稿いただきました。子どもたちの未来を考える機会となれば幸いです。

また、今月もパストガバナーの方々の楽しくて奥が深いエッセイを掲載させていただきました。ぜひ、ご一読ください。

そして、本田ガバナー・コラム「ロータリーの誤解・正解」は今月も思わず、なるほど！です。ロータリーの目的は、「奉仕の理念」を広め、その価値を高めてゆくこと。「奉仕の理念」の実践が、社会の中で自分を活かす道であり、社会をよい方向に導く強い力を持っている。私も靄が晴れたように感じました。

さて、今月からいよいよガバナー公式訪問が始まります。皆様のご協力をお願いいたします。

2013-14 年度ガバナー月信編集長 温井尚久（前橋RC）